



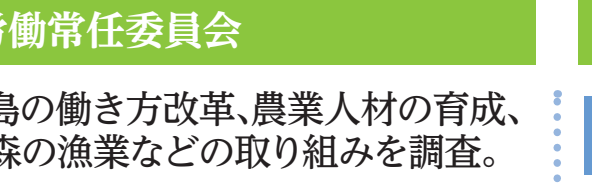
タイ王国高校生の表敬訪問



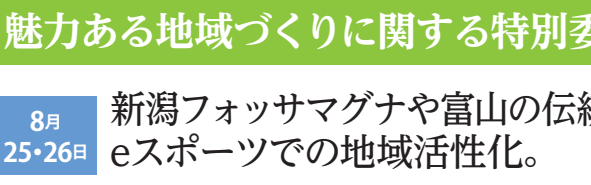
第八回徒然草エッセイ大賞



さくらまつり



宇治茶議連の現地視察



八幡市少年少女合唱団 定期発表会



八幡市長表敬訪問



京都府農林水産業キックオフイベント



八幡防犯協会総会



令和7年度京都府総合防災訓練



身体障がい者協会 定期総会



八幡市議会議員 田島よしみつ

【プロフィール】昭和47年9月生。●[平成3年]平安高等学校卒業。三菱自動車工業(株)京都製作所入社。同社サッカー部(現・浦和レッズ傘下チーム)に所属。●[平成8年]同社退職。龍谷大学経営学部入学。●[平成19年]衆議院議員公設第一秘書。●[平成27年]八幡市議会議員初当選。●[平成31年]京都府議会議員初当選

【現職】●京都府議会 農商工労働常任委員会、魅力ある地域づくりに関する特別委員会(委員長)。八幡市在住で妻・長男(大学生)・長女・次男(高校生)・次女(中学生)の6人家族。

# 令和7年9月 補正予算、可決成立。

## 中小企業者の事業活動を守る取組

**経営基盤強化推進事業費**

中小企業者の賃上げが可能となる経営基盤の強化を支援。経費削減効果のある設備投資等に要する経費を支援。(取組例)機器・設備の導入、経営コンサルティング、人材育成等。

2億 8000万円

## 高温・渇水から農業を守る取組

**農作物生産確保対策事業費**

高温に負けない、農作物の収量・品質を維持する取組を支援。高温・渇水の被害を受けた水田の生産回復に要する経費を支援。府の原種農場の機能強化を図り、高温耐性品種への転換の取組を実施など。

9000万円

## 高校無償化への対応

**高校生等修学支援事業費**

国制度の決定に伴い、高校生等の就学支援金及び奨学のための給付金を拡充。

21億 8300万円

## 建設業人材確保対策支援事業費

物価高騰や人手不足の影響を受ける建設業者等への支援を強化。建設業者や測量業者が行う生産性向上や労働者の処遇改善につながる取組を支援。(取組例)ICT 建設機械・測量機器、ドローンの導入など。

1億 2000万円

## 地域の活動など

### 原子燃料サイクル施設見学



青森県六ヶ所村に整備されている日本原燃の原子燃料サイクル施設を訪問。使い終わった燃料を再処理して、プルトニウムなどを再利用し、廃棄物の量を抑える原子燃料サイクルを推進。従業員約3,000名で約70%が青森県出身者。ここでの事業はウラン濃縮、低レベル放射性廃棄物埋設、高レベル放射性廃棄物貯蔵、使用済燃料受入貯蔵が現在行われており、再処理施設やMOX燃料製造施設は現在建設中。世界で最も高い安全基準で建設されているので、建設に時間がかかっている。安全で安定した電力をより安価で供給することに尽力されています。

### 茶摘みの集い

宇治新茶 八十八夜茶摘みの集いが、宇治茶会館で開催されました。好天に恵まれて、式典の後、茶摘みを体験。新芽は柔らかく、力を入れなくてもポキッと折れて、少しの間ですが茶摘みを体験させていただきました。今年の宇治茶も期待しています。もっと多くの皆さんに宇治茶を飲んでもらい、香りと深い味わいを楽しんでいただきたいものです。



### 淀・木津の水防訓練を実施

宇治川、木津川流域の水防体制の強化と地域住民の生命と財産を守るため、淀川・木津川水防事務組合の水防訓練が宇治川左岸河川敷にて実施されました。訓練想定は、宇治川下流に水防警報が発表され、各消防団・水防団が宇治川の警戒中に、数箇所所で漏水を確認し、水防作業を行うという内容。皆さん懸命に訓練されており、その尽力に改めて敬意と感謝を申し上げます。



### 泳げ、鯉のぼり。大谷川

八幡萌える会の森田代表が、子どもたちの健やかな成長を願い、八幡市大谷川に鯉のぼりを泳がされています。私が行ったときにも赤ちゃんを連れた3世帯の家族が訪れていました。運営を全てボランティアで行われていて、「皆さんに喜んでいただくことが何より嬉しい」と森田さん。この大谷川がきれいな川になるように頑張りたいと思います。

## 農商工労働常任委員会

### 7月 28~30日 福島働き方改革、農業人材の育成、青森の漁業などの取り組みを調査。



京都府議会の農商工労働常任委員会の管外調査を実施。福島県ハイテクプラザでは、企業へのデジタル技術導入を支援され、製造現場の作業効率化・省力化を図り、働き方改革に繋げ、地域産業の魅力向上支援を実施されていました。

福島県農業総合センター農業短期大学校を訪問。令和6年度の卒業後の就農率は53%、一般農業者及び就農を目指す方を対象に研修も実施し、学生寮や一般宿泊棟も新しく整備し、学生寮は完全個室。京都府も農家の高齢化が進み、担い手が不足し、人材育成と確保は喫緊の課題です。

青森県庁では漁業創出事業を視察。海面漁業・養殖業の総生産量が前年から2万2,000トン減少。漁村人口減少、藻場の磯焼けで経営は厳しい状況。養殖業は安定生産が可能だが取組地域が限定しているため、漁村地域の関係者が一丸となり、つくり育てる漁業や地域活性化に向けた海業へのチャレンジなど、変革を起こす、様々な取組をされていた。

サーモン養殖のトップランナーの日本サーモンファーム(株)を訪問。年間3,500トンを出荷され、生産、加工、物流、販売を一社で行う。県外の加工を県内で行うことを目標にされ、地元雇用、若者の県外流出に歯止めをかけたとい、地元を大事にされている。

(公社)弘前観光コンベンション協会を訪問。弘前市は人口約16万人で日本一のリンゴのまち。重要文化財も多く、弘前ねぶたまつりでも有名。新型コロナ感染拡大で、ボランティアガイドの活動が低迷し、ボランティア育成と確保のためにガイド学校を令和5年7月に開校。ガイドの質と量の確保に貢献し、観光関連団体との連携も新たに生まれ、今後の弘前観光の大きな力になると期待されています。

## 地域の活動など

### 小型ポンプ操法の訓練

京都府消防協会綴喜支部の小型ポンプ操法大会に向けて八幡市消防団の小型ポンプ操法の訓練。私も八幡市消防団の訓練指導員の一人として、微力ですが選手の方々に指導のお手伝いをさせていただきました。



### チャレンジライド出発式

京都から万博へ！自転車で駆け抜けよう～「京都 to 万博チャレンジライド」の出発式がさくらであい館で開催。約50km先の万博会場まで走行されました。サイクルロードの整備は西脇知事に提案していたもので、府民の健康や観光に貢献できることに期待します。

## 魅力ある地域づくりに関する特別委員会

### 8月 25~26日 新潟フォッサマグナや富山の伝統産業、eスポーツでの地域活性化。

私が委員長を務める京都府議会の「魅力ある地域づくりに関する特別委員会」の管外調査を行いました。新潟県を訪問し、糸魚川市のフォッサマグナミュージアムとフォッサマグナパークを視察。糸魚川ジオパークを核として、まちづくりや人材育成(住民と若者の郷土愛の醸成)、地域振興、海外との交流など様々な取組みが行われ、持続可能な発展を目指されていました。

清酒「男山」を醸造されている渡辺酒造店では、蔵内が東西の境界に分かれていて、西側が軟水、東側が硬水の地下水が出るそうです。そのため、酒造は西側の軟水を使われていました。八幡市男山と同じ酒名に親しみを感じました。

富山県へ移動し、高岡市オフィスパークに本社を置く「株式会社能作」を訪問。職人の作業環境を五感で体験でき、産業観光も積極的に推進されていました。地域の魅力づくりへの取組みが参考になりました。

地域の伝統産業である「高岡銅器」は、1975年に国の伝統的工芸品に指定。仏具、茶道具、花器などの鋳物を製造され、自社ブランド製品の開発をはじめ、錫や真鍮のテーブルウェアをつつひとつ、職人の手で作られていました。地域の伝統産業を伝えるために産業観光に力を入れていて、この本社に年間数万人が訪れるそうです。

富山県議会を訪問。富山県はeスポーツを地域活性化の手段として推進されています。eスポーツに係る予算は600万円程度で、そのすべてが富山県内の5市町で行われているeスポーツ関係人口創出事業への補助金になっています。

子どもから高齢者に対してeスポーツをコンテンツにアプローチしていて、人材育成や健康寿命などに繋げていました。eスポーツの認知度アップや、様々なイベントや大会を企画・運営されているのが「株式会社ZORGE」。京都府亀岡市のサンガスタジアムにもeスポーツ施設があり、地域密着のeスポーツの普及までは至っていないため、先行事例として参考になりました。



**京都府議会 ちゃんねる**  
京都府議会の活動や、議長による定例記者会見の様子などを配信

### 日々の活動をブログで報告

田島よしみつ で検索

[ホームページ] <http://tajimayoshimitsu.com>  
[ブログ] <http://ameblo.jp/tajima1972>

**田島よしみつ 公式LINE**  
田島よしみつの府議会議員の活動や、府政のお知らせをお届けします。



府政、暮らしのご相談は

京都府議会議員

**田島よしみつ** まで

TEL 075-982-1482  
FAX 075-982-1492  
〒614-8362 八幡市男山美桜5-29-102 (事務所)

令和7年9月定例会  
一般質問  
令和7年9月19日

「けいはんな万博」大阪・関西万博」で披露された最先端技術や研究成果を活かし、社会課題の解決に貢献する「けいはんな学研都市」を目指す。



大阪・関西万博が開催している4月13日～10月13日までの同一期間、けいはんな学研都市エリアで「けいはんな万博」を開催

【田島祥充府議会議員】

「けいはんな万博2025」で様々なイベントが開催され、けいはんな学研都市での先端技術の研究・開発や産官学の連携が加速し、未来社会が創造されることを期待しています。けいはんな学研都市は、万博の活動を拡大継承する「ポスト万博シティ」にも位置付けられており、その推進に向け、けいはんな学研都市が持つ強みや目指すべき方向性などについて、どのようにお考えでしょうか。

【西脇隆俊知事】

「けいはんな万博2025」では、国や分野、世代を超えた幅広い交流

## 高校生が地域や小中学生と交流して、選ばれる府立高校に。

府立高校と地域が連携する取組をどう進めるか？

【田島祥充府議会議員】

私立高校の授業料支援拡充も予定されており、定員を下回る公立高校の増加が懸念されます。「府立高校の在り方ビジョン」では、魅力的な学びの充実の一つとして「地域とのつながりを活かした教育活動の推進」を掲げています。本年の子ども議会でも提案されたように小中高生が交流し、共に部活動体験や授業参加等を行うことで、地域の児童生徒が、府立高校やその生徒を身近に感じることで、選ばれる府立高校につながると考えます。現在の地域連携の取組状況をどのように受け止めていますか。



府立高校と地域の連携・協働に期待が高まる（写真はイメージです）

【前川明範教育長】

府立高校は学びの場であり、地域の活性化に寄与する役割も担っており、地域との連携・協働は大変重要です。現在、府立高校では「総合的な探究の時間」の授業や学校行事を通じて、地域の方々、企業や大学等と連携しながら、地域の課題や魅力について考えることで、地域社会に主体的に関わろうとする姿勢を育んでいるところでは、例えば京都八幡高校では、コミュニティデザインコースの生徒が、幼稚園児から高校生、地域の方々に参加する「絆フェスタ」で、模擬店の企画運営に取り組みられています。また授業の一環で、八幡市子育て支援センターで幼稚園児を対象にした「読み聞かせ」を実施し、「社会とつながる」「社会をつなげる」実践力の育成に努めています。

また「子ども議会」でも提案があった、小・中学生が高校生との交流や地域の高校での学びの体験を通じて、府立高校に関心を高め、夢や目標を見つめることで、進学希望者の増加につながると期待しています。

今後の府立高校と地域が連携する取組について、地域の方々や関係機関とともに創る授業を学校の特色あるカリキュラムとして位置づけていくことも考えられます。また府立高校の魅力を地域の方に知っていただくための効果的な広報活動が重要で

## 両万博での経験を京都の魅力発信に活かす。

が提出され、けいはんな学研都市の次の10年間のプランについて、国土交通省、関係省庁、関西経済連合会なども交えて検討しています。また私が直接、石破総理にポスト万博シティ推進の支援をお願いしました。

けいはんな万博を通じて高まった本都市の強みを活かし、両万博で披露された最先端技術や研究成果を、迅速に社会に実装し、さらに持続的に発展させる「ポスト万博シティ」として、日本や世界が直面する社会課題の解決に貢献する都市を目指すたいと考えています。

【田島祥充府議会議員】

大阪・関西万博は多くの来場者で賑わっていますが、京都府域への波及効果があるかが重要。関西パビリオンの京都ゾーンは、府域へのゲートウェイとして府内周遊を促す役割



EXPO ホールで府内各団体が伝統文化を世界に向けて一日中発信



関西パビリオンの京都ゾーンの展示のひとつ

ほどの程度果たしていて、閉幕までのように運営していきますか。また京都駅周辺エリアまるごとゲートウェイ事業では、ゲームとコラボした周遊スタンラリーなどが実施され、府内周遊の大変面白い取組と考えるが、これまでの成果や課題を踏まえ今後どのように取組を進めますか。

【岡本孝樹総合政策環境部長】

関西パビリオン京都ゾーンでは、展示に体験型・交流型プログラムを取り入れ、京都の本物の魅力に触れることで府域への誘客につなげています。呈茶体験と併せて、お茶の産地などを巡るスタンラリーを紹介したところ、京都ゾーンを起点に300組以上に参加いただき、花山天文台による解説を聞いた方が実際に天文台を訪れるなど、誘客につながったと考えています。9月22日からは「観光」をテーマに、市町村職員が地域の魅力を直接PRするなど、府内周遊につながるよう開幕まで全



4月末に個人で大阪・関西万博に行きました。とても学びの多い1日でした

力で取り組みます。

京都駅周辺エリアまるごとゲートウェイ事業では、楽しみながら府内を周遊し、各地域の魅力を知る企画を実施しています。「リアル桃太郎電鉄」では、約4700名が鉄道を利用して、府内の名所や特産品が味わえる飲食店などを巡っていたり、京都府周遊スタンラリーでは、3週間300組を超える参加がありました。参加者からは「普段行かない場所を訪れ、新たな発見があった」との評価もいただいています。今後は、準備段階で、地元の方の声を取り入れたり、地域のイベントと連動させたり、より一層参加者が地域の魅力を知り、楽しめるよう工夫し、周遊企画を実施したいと考えています。

あるため、学校からの積極的な情報発信に加え、地域の関係機関のホームページやSNSにご協力いただくなど、相互に連動した広がりのある広報を進めます。

## 京阪電鉄の橋脚の外側に歩行空間設置工事が年内着手。

新名神高速道路全線開通に向けて、5つの路線の実現を目指して関係市町と検討。

【田島祥充府議会議員】

新名神高速道路の全線開通に向け、府南部地域の道路網の強化が必要と考えます。山城北部地域道路ネットワーク整備促進協議会の重点要望書では、宇治木津線、城陽―八幡連絡道路、主要地方道八幡宇治バイパス、都市計画道路松井大住線、都市計画道路大住草内線の5つの路線が挙げられたが、必要性や今後の整備方針について教えてください。

御幸橋南側に位置する府道八幡木津線が京阪電気鉄道をアンダーパスする箇所は、歩道がない上に部分的には路肩もなく、歩行者の通行には非常に危険です。令和5年2月定例会の代表質問で早期の改善を求めた際、知事は「本箇所は鉄道の橋脚があるため、道路そのものの幅を広げることには困難だが、歩行空間の確保についてできるだけ早期に対応する」と答弁したが、その後の進捗と整備時期について状況はどうでしょうか。

さらに地域の方々と高校の教育内容や目標、課題などを共有する「コミュニティ・スクール」の役割が一層重要となると考え、地域とのネットワークの拡充・発展に努めます。

【石井宏明建設交通部長】

京都府南部地域の道路ネットワークについて、新名神高速道路の整備を契機に予想を超える開発や立地が進んでおり、国、関係市町と連携して、将来の交通状況を分析し、新たな対策を検討してきたところです。また、山城北部地域道路ネットワーク整備促進協議会から、事業中の道路整備の早期完了とともに5つの計画・構想路線の整備による道路ネットワークの充実が必要との要望を受けました。5つの計画・構想路線について、道路ネットワークの混雑緩和への有効性を分析したところ、いずれも一定の効果を確認できたことから、全ての計画・構想路線の実現に向けた進め方を関係市町とともに検討します。

このうち、城陽―八幡連絡道路は、東西交通のボトルネック部である木津川に新たに橋りょうを設けることで、木津川兩岸の広い地域に高い効果を発揮することから、効率性、実現性の観点から総合的な検討を進めてまいります。

府道八幡木津線が京阪電鉄をアンダーパスする箇所における歩行空間



橋脚の外側に川を渡る歩行空間を設置する工事が年内着工の予定